

2019年9月2日

イオンディライト株式会社

地域社会の「安全・安心」に貢献  
**令和元年度沖縄県総合防災訓練に参加**  
宮古島で沖縄県とイオングループが連携



イオンディライト株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長 兼 社長執行役員：濱田和成、以下「当社」）は、イオン株式会社（取締役 兼 代表執行役社長：岡田元也、以下「イオン」）、イオン琉球株式会社（代表取締役社長：佐方圭二、以下「イオン琉球」）とともに、2019年9月1日に沖縄県・宮古島市・多良間村主催のもと開催された「令和元年度沖縄県総合防災訓練」（以下、「本訓練」）に参加しました。

沖縄県は、複数の島々から構成される島嶼（とうしょ）県であり、地震や津波発生時には、他地域からの支援に時間を要することから災害発生時における初期対応力の強化を主眼に防災対策に注力しています。こうした中、本訓練は、災害対策基本法48条および沖縄県・市町村の地域防災計画に基づき、防災関係機関および地域住民総勢約2,000名の参加のもと、災害発生時における連携や対応状況を検証するとともに、広く県民の防災意識の高揚を図ることを目的に開催されました。巨大地震と津波の発生により、宮古圏域に甚大な被害が発生したという想定で、避難訓練、消防・自衛隊・医療機関などによる救助訓練、通信・電力・輸送などのライフライン関係の防災機材・車両の展示など、多くの関係機関による総合的な訓練となりました。

イオン、イオン琉球および当社は、メイン会場である平良港トゥリバー地区（宮古島市）において、緊急用施設の設営、救援物資の支援といった被災者支援に参加。最大50名を収容できる緊急避難用大型テント「バルーンシェルター」を設営しました。



● 本訓練の様相



● バルーンシェルターは、イオンモール福岡伊都店に配備したものを海運

イオンは、有事の際も地域のお客さまの暮らしを支え、社会インフラの役割を果たすべく、これまでも巨大地震や津波を想定した大規模な防災訓練を継続的に実施するなど、事業継続に備える取り組みを積極的に進めてまいりました。また、2016年3月には、東日本大震災以降の防災への取り組みを踏まえ、「イオングループBCM（事業継続マネジメント）5ヵ年計画」を策定し、「情報システム」「施設」「商品・物流」「外部連携」の5つを重点分野としてBCMを推進しています。当社は、イオングループのBCMにおいて5つの重点分野のうち、「施設」における「安全・安心」を担っています。

当社は、施設に「安全・安心」な環境を提供することを使命とするファシリティマネジメント企業として、これまでも平時においては、お客さまの防災・減災体制の整備を支援し、有事においては発災直後より「対策本部」を設置し、瓦礫の除去や清掃の実施、発電機や簡易トイレなどの資材品の納入、建物の復旧工事などを通じて、被災地への支援、早期復旧に取り組んでまいりました。

当社は、更なる持続的成長を目指して2018年10月に、「イオンディライト ビジョン 2025（以下、「ビジョン 2025」）」を掲げ、「アジアにおいて『安全・安心』、『人手不足』、『環境』の3つを成長戦略の柱に社会課題を解決する環境価値創造企業を目指す」ことを宣言しました。ビジョン 2025の実現に向け、施設管理における技術革新に対応して、AIやIoTといったテクノロジーを積極的に導入しサービスを進化させていくとともに、イオングループ各社や地方公共団体などとの連携により、今後も地域社会の「安全・安心」に貢献してまいります。

#### 〈令和元年度沖縄県総合防災訓練の概要〉

- 主催：沖縄県、宮古圏域2市村（宮古島市、多良間村）
- 実施日時：2019年9月1日（日）13時～15時
- 訓練参加企業・団体：沖縄県関係、沖縄県内市町村、消防機関、指定地方行政機関、自衛隊（陸自、海自、航空）、指定（地方）公共機関、医療機関・医療関係団体、その他の防災関係機関など
- 訓練参加人数：約2,000名
- 訓練実施場所
  - （1）主会場：平良港トゥリバー地区（宮古島市）
  - （2）サブ会場：多良間小学校（多良間村）
  - （3）その他会場：沖縄県庁、県宮古合同庁舎、平良港下崎ふ頭、大神島多目的広場、伊良部カントリーパーク、県立宮古病院、宮古島徳洲会病院、宮古空港、下地島空港、多良間村グランドゴルフ場、前泊港など
- 被害の想定（概要）
  - ・令和元年9月1日、午前10時頃、八重山諸島南方沖（約150 km）を震源とする強い地震が発生。宮古島を中心に最大震度6弱・・・という震度速報が発表。
  - ・10時05分、沖縄気象台から宮古県域に「大津波警報」が発令。10時20分頃から、宮古島南西海岸、離島に3～6mの第一波が襲来。
  - ・被害状況の情報収集にあたったところ、宮古島を中心に甚大な被害が生じ、建物の倒壊や火災の発生、瓦礫の下敷きなどによる負傷者が各地で多数発生。
  - ・また、通信設備が被災し、広範囲の通信障害が発生。

#### — 本リリースに関するお問い合わせ先 —

イオンディライト株式会社 ディライトコミュニケーション部  
TEL：03-6840-5712 FAX：03-3524-8902